



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トマト銀行  
コード番号 8542 URL <http://www.tomatobank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長  
四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

(氏名) 高木 晶悟  
(氏名) 谷口 善昭  
特定取引勘定設置の有無 無

TEL 086-800-1830

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,302	11.8	990	63.8	622	15.5
27年3月期第1四半期	4,740	0.1	604	△30.9	538	1.4

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 880百万円 (4.0%) 27年3月期第1四半期 846百万円 (406.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	5.42	—
27年3月期第1四半期	4.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,237,258	40,506	3.2
27年3月期	1,193,339	39,914	3.3

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 40,506百万円 27年3月期 39,914百万円

(注) 1. 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 銀行法第14条の2の規定に基づく「自己資本比率(バーゼル3基準)」(平成27年9月末予想 9.4%程度)については8ページをご覧ください。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	3.6	1,400	1.0	1,000	5.7	8.71
通期	20,600	0.4	2,800	0.3	1,700	2.2	14.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	116,790,300 株	27年3月期	116,790,300 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,103,555 株	27年3月期	2,098,484 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	114,687,891 株	27年3月期1Q	114,821,261 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

(頁数)

1. 当四半期決算に関する定性的情報-----	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報-----	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報-----	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報-----	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項-----	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動-----	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用-----	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示-----	2
3. 四半期連結財務諸表 -----	3
(1) 四半期連結貸借対照表 -----	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書-----	4
(3) 継続企業の前提に関する注記-----	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記-----	6
平成28年3月期 第1四半期決算説明資料-----	7
1. 平成28年3月期第1四半期の業績【単体】-----	7
2. 金融再生法開示債権【単体】-----	8
3. 自己資本比率（国内基準）【連結・単体】-----	8
4. 時価のある有価証券の評価差額【単体】-----	8
5. 預金・貸出金等の残高【単体】-----	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成27年4月1日～平成27年6月30日)における連結経営成績は次のとおりとなりました。連結経常収益は、預り資産関連手数料等の役務取引等収益の増加に加えて、貸倒引当金戻入益を計上したことなどにより、前年同期比561百万円増収の5,302百万円となりました。連結経常費用は、資金調達費用及び役務取引等費用の増加を主因に、前年同期比175百万円増加の4,311百万円となりました。この結果、連結経常利益は前年同期比385百万円増益の990百万円(対当第2四半期連結累計期間業績予想進捗率70%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比83百万円増益の622百万円(同62%)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

預金残高は、流動性預金、定期性預金ともに増加し、当第1四半期中に265億円増加して1兆495億円(前年同期比590億円増加)となりました。また、預り資産残高(預金、譲渡性預金、投資信託、公共債及び個人年金保険の合計)は、当第1四半期中に295億円増加して1兆1,884億円(前年同期比434億円増加)となりました。貸出金残高は、企業向け貸出及び個人ローン等に積極的に取り組みました結果、当第1四半期中に154億円増加して8,823億円(前年同期比503億円増加)となりました。有価証券残高は、当第1四半期中に256億円増加して2,888億円(前年同期比571億円増加)となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成28年3月期第2四半期連結累計期間及び平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日に発表いたしました予想数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当ありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)、及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、該当取引はないため、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	43,973	46,885
買入金銭債権	—	2,498
商品有価証券	278	278
有価証券	263,215	288,890
貸出金	866,838	882,335
外国為替	4,418	925
その他資産	3,882	4,637
有形固定資産	12,431	12,589
無形固定資産	651	656
退職給付に係る資産	307	302
繰延税金資産	853	590
支払承諾見返	3,630	3,463
貸倒引当金	△7,142	△6,795
資産の部合計	1,193,339	1,237,258
<b>負債の部</b>		
預金	1,022,951	1,049,544
譲渡性預金	2,468	9,315
コールマネー及び売渡手形	7,991	8,204
借入金	95,702	105,356
外国為替	2	0
社債	11,300	11,300
その他負債	7,741	8,017
退職給付に係る負債	524	525
役員退職慰労引当金	268	187
睡眠預金払戻損失引当金	142	129
偶発損失引当金	159	166
再評価に係る繰延税金負債	540	540
支払承諾	3,630	3,463
負債の部合計	1,153,425	1,196,751
<b>純資産の部</b>		
資本金	14,310	14,310
資本剰余金	12,491	12,491
利益剰余金	9,337	9,673
自己株式	△601	△602
株主資本合計	35,537	35,872
その他有価証券評価差額金	3,669	3,924
繰延ヘッジ損益	△2	△2
土地再評価差額金	644	644
退職給付に係る調整累計額	64	67
その他の包括利益累計額合計	4,376	4,634
純資産の部合計	39,914	40,506
負債及び純資産の部合計	1,193,339	1,237,258

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
経常収益	4,740	5,302
資金運用収益	3,821	3,850
(うち貸出金利息)	3,372	3,380
(うち有価証券利息配当金)	434	454
役務取引等収益	739	876
その他業務収益	58	300
その他経常収益	121	274
経常費用	4,135	4,311
資金調達費用	347	409
(うち預金利息)	226	261
役務取引等費用	516	564
その他業務費用	16	301
営業経費	2,942	2,949
その他経常費用	312	86
経常利益	604	990
特別損失	6	10
固定資産処分損	6	10
税金等調整前四半期純利益	598	980
法人税、住民税及び事業税	81	205
法人税等調整額	△22	152
法人税等合計	58	357
四半期純利益	539	622
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	538	622

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	539	622
その他の包括利益	306	258
その他有価証券評価差額金	294	254
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	12	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
四半期包括利益	846	880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	845	880
非支配株主に係る四半期包括利益	1	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当ありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当ありません。



## 平成28年3月期 第1四半期決算説明資料

当社の平成28年3月期第1四半期(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)における四半期情報についてお知らせします。

## 1. 平成28年3月期第1四半期の業績【単体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期累計期間予想 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
		前年同期比		
経常収益	5,259	564	4,694	9,800
業務粗利益	3,724	17	3,706	
うち資金利益	3,448	△ 24	3,472	
うち役務取引等利益	259	85	173	
うちその他業務利益	17	△ 43	60	
国債等債券損益	△ 249	△ 293	43	
経費(除く臨時処理分)	2,905	0	2,905	
一般貸倒引当金繰入額	—	105	△ 105	
業務純益	818	△ 87	906	
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	818	17	801	
コア業務純益	1,068	310	757	
臨時損益	168	481	△ 312	
うち不良債権処理額	△ 128	△ 436	308	
個別貸倒引当金繰入額	—	△ 234	234	
うち株式等関係損益	△ 0	8	△ 9	
経常利益	987	394	593	1,400
特別損益	△ 10	△ 4	△ 6	
税引前四半期純利益	977	389	587	
法人税、住民税及び事業税	205	127	77	
法人税等調整額	149	173	△ 24	
法人税等合計	354	300	53	
四半期純利益	622	88	533	1,000

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 2. 金融再生法開示債権【単体】

(単位:百万円、%)

	平成27年6月末
破産更生等債権	3,361
危険債権	17,641
要管理債権	2,996
小計(A)	23,999
正常債権	869,936
合計(B)	893,935
比率(A)/(B)	2.68

(参考) (単位:百万円、%)

	平成27年3月末
	4,015
	17,975
	3,042
	25,033
	852,707
	877,740
	2.85

## 3. 自己資本比率(国内基準)【連結・単体】

	平成27年9月末 (予想値)
連結自己資本比率(バーゼルⅢ基準)	9.4%程度
単体自己資本比率(バーゼルⅢ基準)	9.4%程度

(参考)

	平成27年3月末(実績)
	9.45%
	9.44%

## 4. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

(単位:百万円)

	平成27年6月末				平成26年6月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	260,781	5,444	5,699	254	204,060	4,038	4,136	97
株式	6,257	3,672	3,685	13	4,620	2,035	2,074	38
債券	198,152	1,689	1,710	20	169,439	1,718	1,772	53
その他	56,372	83	303	220	30,000	283	288	5

(参考)

(単位:百万円)

	平成27年3月末			
	時価	評価差額		
		うち益	うち損	
	235,162	5,080	5,172	92
	5,677	3,093	3,113	19
	182,609	1,599	1,646	46
	46,874	387	413	25

(注) 1. 平成22年3月末から、「金融商品に関する会計基準(企業会計基準第10号平成20年3月10日)」及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針第19号(平成20年3月10日)」を適用しております。これにより、その他有価証券は私募債の時価評価を行ったため、従来に比べ貸借対照表計上額は、平成26年6月末は9百万円減少、平成27年3月末は39百万円増加、平成27年6月末は43百万円増加しております。

2. 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	平成27年6月末				平成26年6月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	27,112	1,502	1,509	6	26,846	1,507	1,507	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-

	平成27年3月末			
	帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損	
	27,053	1,604	1,607	3
	-	-	-	-

5. 預金・貸出金等の残高【単体】

(1) 預金残高

		(単位:百万円)		(参考)	(単位:百万円)
		平成27年6月末	平成26年6月末	平成27年3月末	
預金		1,049,628	990,603	1,023,072	
	うち個人預金	809,449	773,105	797,101	
	うち法人預金	206,967	197,249	195,682	

(2) 預り資産残高

		(単位:百万円)		(参考)	(単位:百万円)
		平成27年6月末	平成26年6月末	平成27年3月末	
預り資産		1,188,504	1,145,071	1,158,971	
	預金	1,049,628	990,603	1,023,072	
	譲渡性預金	9,315	25,606	2,468	
	投資信託	53,368	43,575	53,398	
	公共債	6,299	10,302	7,127	
	個人年金保険	69,892	74,982	72,905	

(3) 貸出金残高

		(単位:百万円)		(参考)	(単位:百万円)
		平成27年6月末	平成26年6月末	平成27年3月末	
貸出金		882,728	832,378	867,134	
	うち個人ローン	296,877	278,459	292,896	
	住宅ローン	256,054	244,564	254,476	
	消費者ローン	40,823	33,894	38,420	
	うち岡山県内	692,621	650,885	678,313	

(4) 中小企業等貸出残高

		(単位:百万円、%)		(参考)	(単位:百万円、%)
		平成27年6月末	平成26年6月末	平成27年3月末	
中小企業等貸出金		648,795	627,361	645,972	
中小企業等貸出比率		73.49	75.36	74.49	

以上